

## 巻 頭 言



### 「開院記念と市民公開フォーラム」

院 長 秦 温 信

開院記念は、昭和22年2月1日個人運営から国に移管され、「北海道健康保険北辰病院」(鮫島龍水院長)として現在の社会保険病院の形態になったことを記念したもので、2月1日でした。平成2年6月1日に中央区から現在地に移転し、同時に「札幌社会保険総合病院」と改称しましたが、この次の年からこの6月1日を開院記念日と変更されました。この時からこの日が休日となりましたが、当時の院長であった橋本 博名誉院長にうかがうと、せっかく休日にするなら2月より気候のよい6月の方がよいと判断されたとのことでした。ところが、平成11年になって公的病院のあり方が問題になり始め、この年の開院記念日からその日を休日とせずに振り替え休日として設定することにし、現在に至っているものです。そうであれば、本来の開院記念日にすべきではないかということになり、2月1日に設定したわけです。

一方、市民公開フォーラムは、平成12年から6月1日に開催することになっていました。当初の講演は「禁煙週間」にあわせて禁煙に関することのみでしたが、第4回からは生活習慣病に関することも加えることになり、本年の第6回では記念講演として、三橋公美泌尿器科部長による「当院の禁煙の取り組みの経緯と現況」、関谷千尋副院長による「避けよう！生活習慣病（高血圧、糖尿病、痛風）への道・・・肥満」が行われました。さらに、実行委員会の企画によるものですが、今年は少し趣を異にしました。記念講演に先立っての記念演奏として、リニューアルしたエントランスホールでコンサートが行われました。ファゴット（鷹見公貴眼科医長）、オーボエ（同夫人）、ピアノ（矢崎有佳氏）による生演奏は、ホールに集まった多くの聴衆を魅了しておりました。「病院は病気を治すところ」というのは当然ですが、医療は、病気の予防や介護など、保健や福祉の分野とも重なっています。病院という場が、誰でもがいつでも集い、保健や福祉、病気に対する認識や理解を深めることができるコミュニティの場、あるいは、精神的な癒しの場として広がって行って欲しいと願っています。